



証券コード：4584

Kidswell.Bio

2024年3月期 第3四半期 決算補足説明資料

2024年2月7日

バイオで価値を創造する
—こども・家族・社会をつつむケアを目指して—

キッズウェル・バイオ株式会社

- ◆ 2024年3月期 第3四半期 業績ハイライト
- ◆ 企業価値向上に向けた取り組み
- ◆ バイオシミラー事業のアップデート
- ◆ 細胞治療事業のアップデート -株式会社S-Quatre（エスカトル）の設立計画-
- ◆ IRの基本方針と今後のスケジュール

2024年3月期第3四半期 業績ハイライト

(単位：千円)

科目	2023年3月期 3Q実績	2024年3月期		通期予想	進捗率
		3Q実績	対前年比		
売上高	1,726,862	1,566,742	91%	3,500,000	45%
売上原価	654,042	703,808	108%		
売上総利益	1,072,819	862,934	80%		
販売費及び一般管理費	1,208,342	1,529,959	127%		
研究開発費	579,055	807,465	139%	1,600,000	50%
その他販管費	629,287	722,493	115%		
営業利益（マイナスは営業損失）	△135,523	△667,025	--	△1,500,000	--
経常利益（マイナスは経常損失）	△194,023	△712,858	--	△1,550,000	--
四半期純利益（マイナスは四半期純損失）	△194,930	△747,400	--	△1,550,000	--

- 一部バイオシミラー製品の製造スケジュールの調整等により、今期に予定していた納品が来期にずれ込む可能性。現在、製造委託先と精査中だが、製品需要は旺盛なため、納期が来期にずれ込むと、来期売上高のプラス要因に。
- 2023年11月に販売開始されたGBS-010（ペグフィルグラスチムバイオシミラー）の今期売上高への貢献は限定的。順調に製造は進んでおり、来期以降大きく成長する見通し。

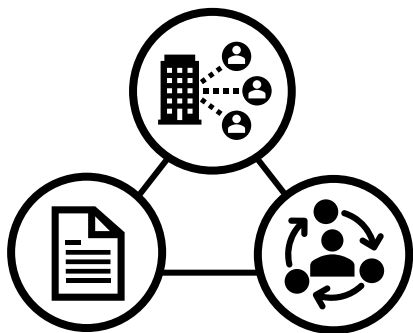
(単位：千円)

科目	2023年3月期 4Q	2024年3月期 3Q
流動資産	3,697,155	5,036,812
(現預金)	1,067,162	2,186,682
(売掛金)	1,088,766	481,855
(製品)	213,007	187,960
(仕掛品)	422,308	1,149,405
(前渡金)	821,536	819,463
(その他)	84,373	211,444
固定資産	197,609	161,723
資産合計	3,894,765	5,198,535
流動負債	1,055,839	1,988,383
固定負債	1,605,420	1,766,610
負債合計	2,661,259	3,754,993
純資産合計	1,233,505	1,443,541
負債・純資産合計	3,894,765	5,198,535

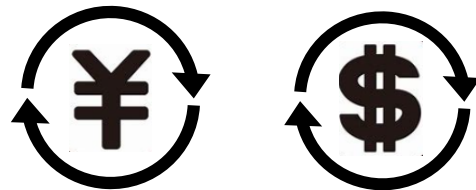
- みずほ銀行からの追加借入等により現預金残高は更に改善。
- 各バイオシミラー製品の好調な販売実績に基づき、今後の安定供給に向けた製造運転資金は高い水準を維持。資金効率改善のため、パートナー企業との調整を継続。

企業価値向上に向けた取り組み

① 経営資源の集中



② 資金調達手段の最適化



③ 事業価値の見える化



企業価値の最大化と、株価の回復・成長の実現

2023年末までの事業進捗		
バイオ新薬事業	バイオシミラー事業	細胞治療事業
<ul style="list-style-type: none">一部のプロジェクトについては特許出願完了	<ul style="list-style-type: none">4 製品を上市（共同開発）第5 製品目以降は、パートナー候補企業との協議を開始	<ul style="list-style-type: none">第一世代SHEDで臨床開発入り第二世代SHED等についても研究が進捗

“選択と集中”

- 3 事業に分散していた経営資源（人財、資金）を、
 - **バイオシミラー事業**（安定的な収益基盤事業として確立）
 - **細胞治療事業**（成長基盤事業として研究開発活動の進捗が顕著）に集中的に投下し、経営資源のより効率的な活用と事業価値向上の加速を目指す
- バイオ新薬事業は、外部との連携・協業に向けた事業開発活動に当面専念

②資金調達手段の最適化と③事業価値の見える化

- バイオシミラー事業と細胞治療事業を別会社とすることで両社の業務内容がシンプルになり、
 - それぞれの事業特性や資金使途に応じた資金調達手段を遂行
 - 事業ごとの業績開示による“事業価値の見える化”が向上
- なお、新会社においては、事業会社やベンチャーキャピタルとの提携を含めた新会社独自の柔軟な資金調達を遂行予定（資金調達手段の多様化）

	当社	新会社 (株)S-Quatre
コア事業	バイオシミラー事業	細胞治療事業 (SHEDの研究開発)
事業特性	ミドルリスク、ミドルリターン	ハイリスク、ハイリターン
事業の意義 (事業ステージ) 戦略	収益基盤事業 (収益回収ステージ) 既存製品最大化と新製品開発による収益性拡大	成長基盤事業 (先行投資ステージ) 先端モダリティへの先行投資による先駆者利益獲得
資金調達手段 (資金使途)	デットファイナンス (製造資金)	エクイティファイナンス (研究開発資金)
主要IRイベント	<ul style="list-style-type: none"> • 既存製品の収益拡大 • 上市済み4製品の収益拡大 • 5製品目以降に関するパートナー企業との契約締結 	<ul style="list-style-type: none"> • 第一世代SHEDの臨床開発の進捗 • パートナー企業等との契約締結 • 第二世代SHED等の研究の進捗

バイオシミラー事業のアップデート

既存製品の収益最大化に向けた取り組みを継続しつつ、更なる成長に向けた取り組みを加速

既存製品の来期以降の成長に向けた取り組み

◆ 需要の増加への対応

- ✓ 順調な需要の増加に対応するため、製造委託先での製造能力の拡張に向けた取り組みを継続（一部完了）
- ✓ パートナー企業からのフォーキャストに基づいて、来年度以降の製造スケジュールを調整中（一部完了）
- ✓ 製造運転資金の増加に対応するため、追加の融資について金融機関との協議を継続

バイオシミラー事業の更なる成長に向けた取り組み

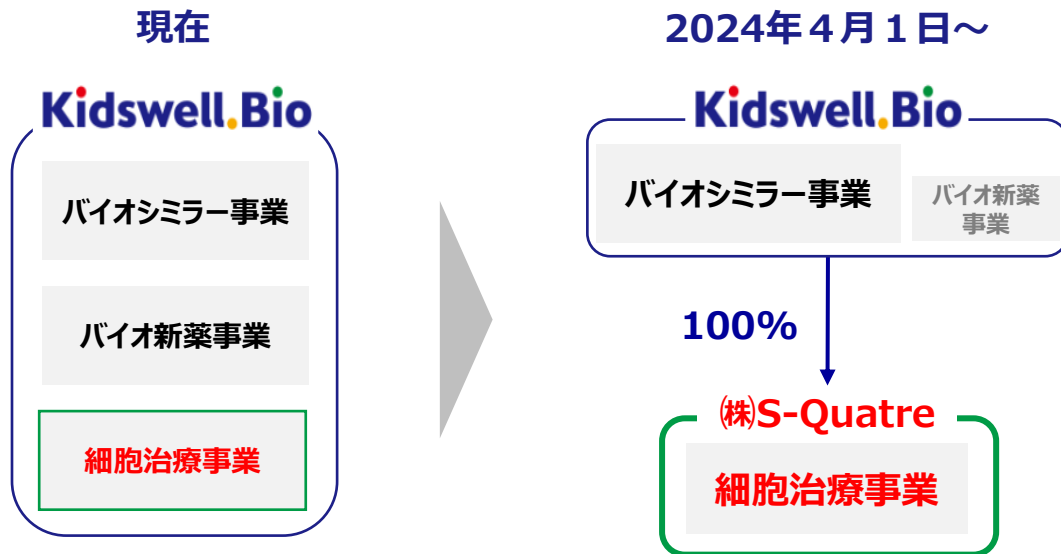
◆ 第5製品目以降のバイオシミラーの開発検討

- ✓ バイオシミラーの使用促進に向けた、国の政策による後押しも見据えながら、新規バイオシミラーの開発を積極的に推進
 - 高い収益性が期待できる開発候補品の選定完了
 - 複数の共同開発パートナー候補先と協議を推進中

細胞治療事業のアップデート

-株式会社S-Quatre（エスカトル）の設立計画-

- 将来の成長事業として研究開発を進めている乳歯歯髄幹細胞（SHED）を基盤とした細胞治療事業を当社から切り離し、新たに設立する新会社へ承継
- SHEDの安定供給プラットフォーム「S-Quatre®」を基盤とするSHEDの研究開発をコア事業とすることから、社名を“株式会社S-Quatre（エスカトル）”と命名
- 当社の100%子会社として、**2024年4月1日**に設立予定

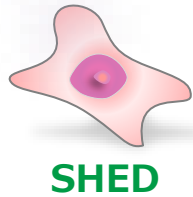


新会社の概要	
商号	株式会社S-Quatre（エスカトル）
所在地	東京都中央区新川一丁目2番地12号
設立	2024年4月1日（予定）
資本金	5,000千円
代表取締役 取締役 監査役	三谷 泰之 川上 雅之、紅林 伸也 菅原 治
コア事業	細胞治療事業（SHEDを基盤とした研究開発）

柔軟なスタイルで外部との連携、外部資金の獲得を進め、
SHEDの開発加速化とS-Quatre®の価値最大化を目指す

研究開発における主な取り組み

第一世代SHEDの
臨床開発



SHED

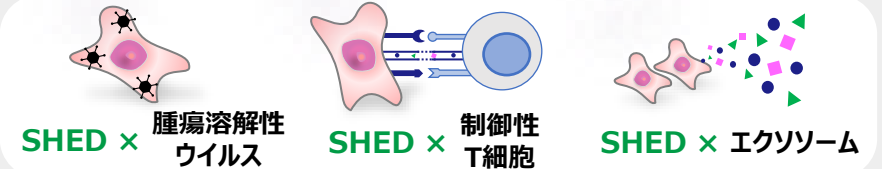
1

エスカトル
S-Quatre®

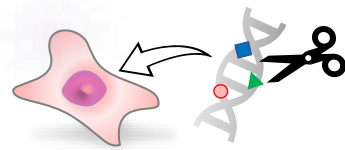
(SHED安定供給プラットフォーム)

3

多様なモダリティへの
SHEDの活用拡大



第二世代SHEDの
早期ステージアップ



SHED × 遺伝子改変

2

4

SHED事業の海外展開
に向けたS-Quatre®の
米国FDA基準への対応



独自の資金調達の実施

- ◆ 外部企業やベンチャーキャピタルとの早期連携による資金調達（企業治験の開始）
- ◆ 大学との連携強化による公的資金獲得（医師主導治験への展開）

SHEDの開発状況（脳性麻痺遠隔期）

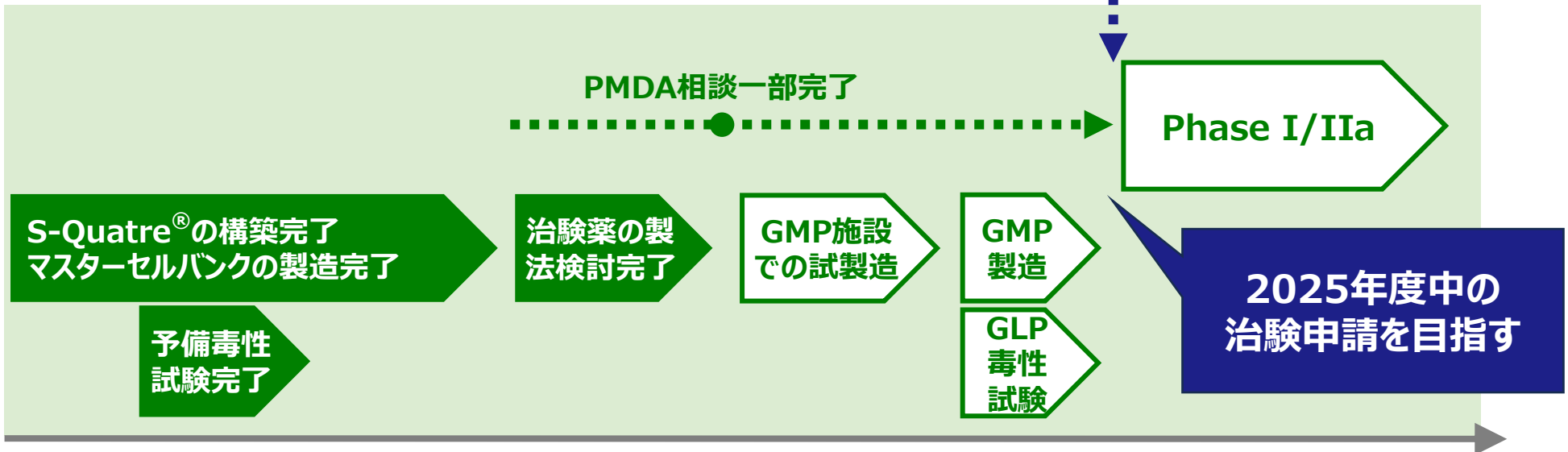
自家SHED

- 患者様自身の乳歯からSHEDを製造
- 患者様自身に投与し、主に安全性を確認



同種SHED

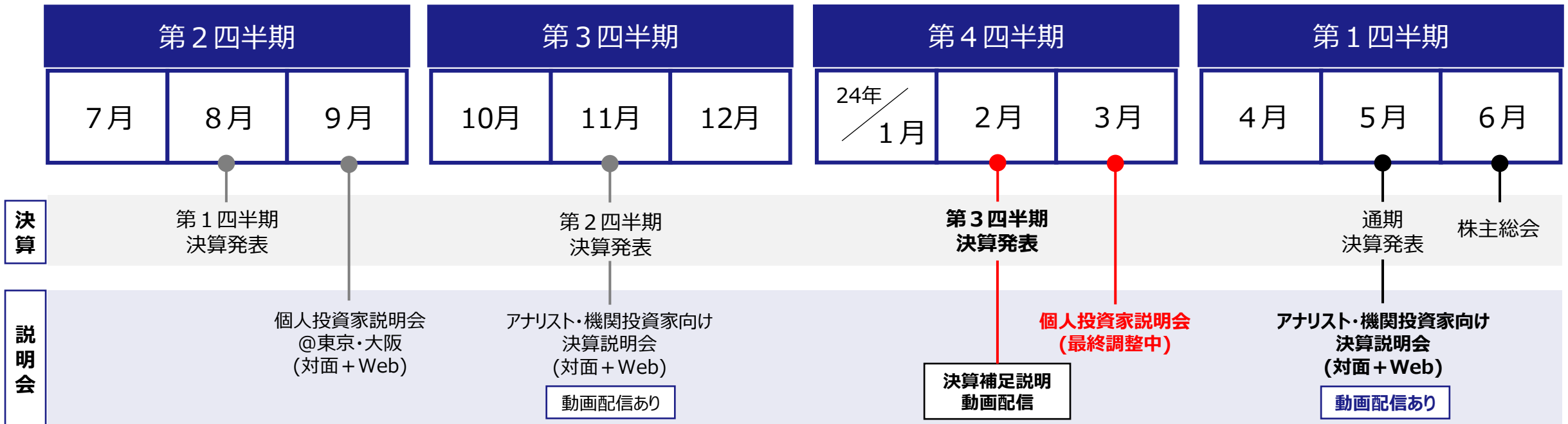
- 健常ドナー様の乳歯からSHEDを製造
- 多数の患者様に投与し、安全性と有効性を確認



IRの基本方針と今後のスケジュール

IRの基本方針：株式市場との“対話”の機会を増やし、コミュニケーションの改善に努める

<年間IRスケジュール（予定）>



IRイベント等への出展による説明会を積極化

ニュース発表及び事業内容に関する補足説明動画の配信も随時実施継続

KIDS WELL, ALL WELL

こどもの力になること、こどもが力になれること

Kidswell.Bio



本資料はキッズウェル・バイオ株式会社（以下、当社という）をご理解いただくために作成されたものであり、投資勧誘を目的として作成されたものではありません。

本資料に含まれている今後の戦略・計画、将来の見通し及び その他将来の事象等に関する記載には、本資料の発表時点において合理的に入手可能な情報に基づく当社の仮定、見込み等が含まれます。そのため、実際の業績、開発進捗等は、今後の研究開発の成否や将来における当局の対応、事業パートナーの状況等、現時点では不明又は未確定な要因によって、本資料の記載とは異なる結果となる可能性があります。

Appendix

三谷 泰之（みたに やすゆき）

株式会社S-Quatre 代表取締役 就任予定（2024年4月1日～）

1996年	京都大学薬学部卒業. 薬剤師免許取得
1998年	京都大学大学院 薬学研究科 修士課程修了 藤沢薬品工業株式会社（現アステラス製薬）入社. 2019年まで主に神経変性疾患および筋疾患の創薬研究に従事
2013年	東京大学大学院 薬学系研究科にて博士号取得
2015年	シンシナティ小児病院医療センター（米国）留学. 小児疾患に対する幹細胞移植研究に従事
2017年	Buck Institute for Research on Aging（米国）出向. 細胞老化研究に従事
2019年	株式会社ジーンテクノサイエンス（現キッズウェル・バイオ）入社. 研究開発本部開発部 課長 乳歯歯髄幹細胞（SHED）のパイプライン構築に向け、複数アカデミアとの共同研究を開始・主導
2020年	同社事業開発本部 事業開発部 副部長
2021年	同部長 兼 再生医療事業ユニット長
2023年	同社執行役員 研究本部長